

第4回菅田小学校跡地利用検討委員会

日時：令和2年1月29日（水）午後7時から

場所：西菅田団地集会所

1 議題

（1） 地域住民向けワークショップについて

- ・ 資料説明・・・・・・・・・・ 資料1 資料2
- ・ 意見交換

（2） 提案書のイメージの確認

- ・ 資料説明・・・・・・・・・・ 資料3－（1）、（2）
- ・ 意見交換

（3） テーマごとの内容についての検討

- ・ 意見交換・・・・・・・・・・ ご持参いただいたシートのコピー
（提案書作成に向けて、具体的な内容を検討する。）

2 連絡事項

- ・ 第5回開催日程について
- ・ その他

地域住民向けワークショップについて

検討委員会が菅田小学校跡地利用の検討を進めていくにあたり、地域住民の方からのご意見を参考とするため、地域住民向けワークショップを開催しました。

参加者の皆さんで「地域の課題」と「必要な機能」について、グループワークをして意見を出し合い、発表していただきました。

◆開催日時

令和元年 12 月 14 日（土）午前 10 時～12 時

◆開催場所

西菅田団地集会所

◆参加者

30 名

◆実施方法

5 グループ（各 6 名ずつ）に分かれて、グループごとに意見交換を行い、発表していただきました。



◆当日の流れ

- （1）挨拶と趣旨説明
- （2）ワークショップの進め方について
- （3）グループワーク ①地域の課題
- （4）グループワーク ②跡地にあると良い機能
- （5）まとめ
- （6）発表



Aグループ

地域の課題	
項目	内容
高齢化	高齢化対策を配慮した施設の設置
	少子高齢化
	高齢者の体力作り
	心のケア
	一人暮らし
	高齢化が進んでいる
	高齢者の増、認知症の増、支え合い助け合いが必要
子どもの遊び場が少ない	子供の遊び場不足
	放課後に家に入れない子どもが多い、ひとりにしない、助け合いが大切である
	青少年の育成の場所
	子供の遊び場が少ない
	放課後の子どもの居場所が少ない
外国人増によるコミュニケーションがとりにくい	外国人の住民が増えてきているのでマナーの点(特にゴミ捨て)で問題がある
個人情報がとりにくくコミュニケーションがとりにくい	「個人情報の為・・・」が多く、コミュニケーションがとりにくくなってきている
交通の不便さ	高低差が多く、高齢者が移動するのに不便
	送り迎えの車の確保(特に高齢者に対して)
	交通の不便さ
	坂が多いので団地内が小型バスを運行できると良い(日中だけでも)
	交通の便、相鉄バスが団地の下の方まで下りてくれると良い
地域交流の場が少ない	地域の交流の場が少ない(サロンはあるが固定している)
	高齢者の集う場が少ない
行政が遠い	行政(ケアプラ、区役所等)が遠い
スポーツのできる場が少ない	スポーツ施設(現在のグラウンドを使用)
	スポーツ活動の拠点が必要
ショッピングの不便さ	ショッピングの不便さ
災害時の避難場所が少ない	災害時の避難場所の確保(池上小、菅田小)

跡地にあると良い機能	
項目	内容
高齢者と子どもの交流機能(場所)	高齢者と子どもの交流(遊び)、昔の遊び
	認知症 交流・・・高齢者と子ども 混合
高齢者の健康づくりの場	高齢者の健康、運動、体を動かすこと
	高齢者向けの運動工具の設置
子どもの遊び場(中も外も)	スポーツのできる場所(屋内屋外共に)
青少年育成の場	体育館、スポーツグラウンド
	スポーツをする運動場(誰でも気軽に)
	スポーツのできる場所の確保で参加者のコミュニティアップにする
	子どもが遊べる(アスレチック等)
	子供が安心して遊べる場があればよい
	子供の遊び場を増やす事でゲームの時間帯を減らす
移動販売	移動販売
図書館(サロン付き)	室内サロン設置
	図書館も兼ねたサロン室
	図書館
集会機能	集会の場があった方がよい(高齢者の)
	自治会の集会所としての設備(街区が広い為)
	高齢者が自由に利用できるホール
ショッピング機能	商業施設を置く事で高齢者の補助をする
	食品市場
防災拠点	防災拠点の倉庫
区役所出張所	区役所出張所

Bグループ

地域の課題	
項目	内容
マナー	登下校時の騒がしさ
	小学校の野球グラウンドがうるさい
	周辺騒音
	西菅田団地の住民のレベルが低いのであまり気持ちが良くない
予算と財源	通学路が整備されていない
	小学校の施設を必要とするのか疑問
施設	歩いて行ける所に図書館がない
交通・立地	駐車場整備
	相鉄バスの回数を増やしてほしい
	地区センター含む本格的な図書館がほしい
	土地の高低差があり移動が困難
高齢化と担い手不足	高齢者と若い人、ギャップ、触れ合いが少ない
	担い手さんが少ない(これからに向けて)

跡地にあると良い機能	
項目	内容
施設	若い人との交流
	スポーツジムとしての利用
	スポーツジム風のもので健康にも良いし病院に行くのも減り、民間のは高額なので割安で利用できればよい
	文化的機能を担う施設
	体育施設の充実
	アスレチック設備の整備
	文化施設として残す(図書館、地域交流室)
防災	使える避難場所
	防災機能は残す
	調理室は災害時にあれば便利
高齢化と担い手不足	子ども食堂設置
	移動支援の拠点 高低差解消
	ボランティアにも限界が有る
	足の手段
その他	予算と財源
	小学校の跡地は高齢者の憩いの場にしてほしい
	更地に戻すのも一つの選択(予算次第)
	スポーツ・子育て・文化における組織委員会の設立

Cグループ

地域の課題	
項目	内容
交通(バス)	東神奈川方面・区役所に行くのに不便
	バスが大混雑
	市営バス12系統が減った
	相鉄バスの本数が減った
	交通不便
	陸の孤島 区役所方面はバスより自家用車
	道路建設が一向に始まらない
	高齢化バス台数増やす
施設(商店・娯楽他)	図書館が遠い
	映画館や音楽会等のエンターテインメント施設がない
	コンビニが遠い
	食品・日用雑貨の店はあるが、他の買い物には不便
高齢化・賑わい	学校がなくなったら過疎化が進みそう
	西菅田団地70歳以上が700人越
	高齢化
	坂が多い、勾配がすごい
その他	家賃が高い

跡地にあると良い機能	
項目	内容
トイレ(防災含む)	公衆トイレ(地震のときも使用可能なもの)
	水道と数多くのトイレ(20個くらい)
	防災避難場所
	備蓄倉庫(防災グッズ)
	教室跡に備蓄倉庫
グラウンド・体育館	少年野球(グラウンド)、グラウンドゴルフ、団地運動会
	体育館はそのまま使用
	ママさんバレー、剣道部、卓球部
食事	子ども食堂
	食事の提供(調理室はそのまま利用)
	炊き出し、炊事施設
バス・駐車場	駐車場が必要
	団地内で移動できる小型バス(コミュニティバス)
	コミュニティバスで連絡する
娯楽施設・商業施設	学習施設(子どもから大人)
	定期的に市場を開く
	映画を見られる場所
	多目的施設
	地域の人材が先生に・・・(講座やイベントを開催する?)
	菅田郷土資料館を開設
	エレベーター設置
	バリアフリーの施設にする
その他	道路建設を早く進めて欲しい
	整備前の土地の利用をもっと簡単にする
	羽沢横浜国大駅へのアクセス
	環境がいいのでもっと子育てしやすい地域にしたい

Dグループ

地域の課題	
項目	内容
子どもや地域交流	現サークルはどうなるのか
	キッズクラブはどうなるのか
	病院・地区センターなど遠いので、1か所に色々あると人との関わりも生まれる
	高齢者の遊び場がほしい
	池上小学校の入口の交差点は7～9時規則の交通規制があり、急な子どもの用事に対応不可
	地域が集える場が必要
	働く親(特にシングル)の為に、子どもを預かってくれる役目
	子ども達が遊べる場所がない
	子ども達が放課後に安全な場所
	少子高齢化が進んで年齢層別の活動施設が無くなるので、全年齢を対象にした施策
	幼保から高齢者を含めての活動が可能な施設が必要
防災関連	災害時への対応が現状の自治会組織で可能かどうか
	防災拠点はどう語るのか
	防災拠点が狭く遠いのは高齢者・子どもには負担が大きい
	非自治会員の対応をどうするか
	災害の拠点
	災害発生時における対応は班体制でよいのか
	自然災害(地震・台風・崖ぐずれ)に対する共助の役割を、町全体で新しい組織をつくる
見守り	見守り隊は一部だけである
	一人暮らしの人の見守り隊
その他	スポーツ活動の設備がない、図書館がない
	坂道が多く、バス路線でカバーできない問題が多い
	これ以上、老人ホームや霊園はいらない
	地区センターの駐車場が狭く利用しづらい

跡地にあると良い機能	
項目	内容
取りまとめる部門を構築する ＜地域本部＞	非自治会員でも加入できる組織を
	現自治会で対応できない部門をつくる
	具体的な施設だけでなく組織の在り方を考えたい
	自治会の枠にとらわれずに活動する組織(含む非会員)
「食」について	食事提供のための調理室と食事室
	駅から遠く坂の上なので一か所で色々な用がたせると良い(クリニック、コンビニ)
	コミュニティバスの運行
	住民間の交流を進める為の「カフェ」みたいな施設が欲しい
子ども・子育てに関する事	子ども達を放課後に預かれる場所
	片親の方の子供が病気の時でも預かれる位の役目があるもの
	子どもを見守る機能
	教室(スクール)習い事のために開放できる施設
	地域の教育力を活用する為、小・中学生を教える場とか教室が欲しい
世代問わず交流に関する事	世代を問わず楽しめる場所
	子どもと大人との交流する為の体育館・グラウンドが必要
	現在の地区センターは駐車場が狭く不便なので地区センターを移設し、駐車場を整備し図書館&スポーツセンター等の複合的な諸施設・機能が必要
	図書館が欲しい(特に児童書)
	地区センターの様に色々な世代が色々な目的で気軽に利用できる所
	同好のグループ活動が活発になる様な部屋が必要
	文化・スポーツ活動で地域交流が続いていける役目
	高齢者の生きがいができる施設の役割
その他	近く予想されている東京直下型地震や台風に対応する防災拠点としてのバリアフリー型の体育館

Eグループ

地域の課題	
項目	内容
防災・防犯	防災拠点としての機能設備が少ない
公園	新総合運動公園として整備
居場所	みんなで集まれる、お茶のみサロン
移動(交通)	買い物が大変なので、コミュニティバスがほしい
子ども	なぜ家から近い学校へ通えないのか
	菅田小が閉校することによりファミリー世帯がより少なくなっている
	通学路が狭い
	子供達が集団登校でバラバラに登校するので注意が必要
	保育園の収容人数を増やす(学校跡地に)
	病院や習い事、駅に出ないと何も無い
	学童やキッズ、子ども達の預かり支援をしてくれる所がほしい
	池上小のキッズが終わったら早めに帰り、跡地で子どもが過ごせる施設がほしい
その他	URと話し合い、人口を増加させる
	URの家賃が高いから人が入ってこない

跡地にあると良い機能	
項目	内容
防災拠点	洋式トイレを残す(数多く)
	地域防災拠点がほしい
	多目的ホールを広めに作る施設
	避難する場所
	物資を受け取る場所
	情報発信してくれる機能がある建物がほしい
	備蓄品を分別・収納できる倉庫をつくりたい、防災倉庫
居場所	目的別の公園
	お年寄り子ども達が一緒に集まれる場所を作る
	ボール遊びが出来る公園を作ってほしい
交通	道が狭い
	坂が多い
	細かく周るコミュニティバスがほしい
	年間定期券で安く乗れるコミュニティバス
	移動販売の車があると良い
病院	専門の医療施設がほしい
子ども関係	小学校はそのまま残して習い事の教室にしてはどうか
	パソコン・習字・そろばんなど地域の方に先生になってもらう
	プールを残してほしい
	7街区側の教室1棟残して使用する校舎を残す
	地区センターの様な図書室なども作ってほしい
	段階的に幼稚園⇒小⇒中⇒とみんな集まれる場所、子供達の設備

○委員以外の方から寄せられたご意見の一覧(R1.10.30以降追加分)

資料2

番号	性別	年代	お住まいの地域	意見
67	無回答	50代	神奈川区菅田町	<p>・スポーツ団体向けの宿泊施設 埼玉県に廃校を利用したスポーツ団体向けの宿泊施設がありますが、菅田小学校もそのような利用法はいかがでしょうか。近隣に新横浜公園や三ツ沢公園があり、野球やサッカー等の強豪チームも比較的近くに多数ある環境なので、大会や遠征時の宿泊施設として、あるいは合宿用施設として利用価値は高いと思われます。</p> <p>この利用方法の利点 1. 学生の長期休暇以外の平日は、宿泊客はいないと思われるため、地域住民が施設を活用できる。(グラウンド、体育館、家庭科室、大浴場、貸部屋等) 2. 大きな災害時には、そのまま防災拠点として活用できる。(防災用品の備蓄、配布、避難者の受入れ等)</p>
68	無回答	無回答	神奈川区菅田町	<p>跡地に国の補助金を補填して「横浜市営バス」の「停留所の敷設」をおねがいします。(西菅田団地住人) *バス停:西菅田団地からだ登坂で「超高齢者」の歩行が危険です。検討ください。</p>
69	無回答	70代以上	神奈川区菅田町	<p>跡地利用については、菅田地区の将来像に沿った利用をすることが必要だと思います。菅田地区の現状については、人口減、少子高齢化が進んでいることが示されていました。この様な状況をふまえて、将来、菅田町を横浜市全体の中でどのような特色ある地域にしたいという将来像を神奈川区あるいは横浜市は持っておられるのでしょうか。もし将来像がなくて、時間的にも空間的にも狭い範囲で跡地利用を考えると、すぐに意味のないものになってしまうのではないのでしょうか。</p>
70	無回答	無回答	無回答	<p>この地域は、年配の方が多く、よく健康のためか、歩いていらっしゃいます。 私もここに、引っ越して直ぐに、アスレチッククラブなど探しましたが、菅田町までバス賃を使い行くしかないとしりました。 アスレチッククラブに、入会しても、飽きっぽい性格なので続ける自信はありません。 今、政府でも、介護予防として県に補助金をだすとか？ 目に見えないところに使われるのなら、是非、この場所に、アスレチック機械など、入れて、この地域の方特に運動の場所と機会を探している年配の方に提供して欲しいです。 私の提案は、年配の方に、運動の機会を、与える場にも使って欲しいということです。</p>

『提案書』のイメージ

令和●年●月●日

神奈川県長 高田 靖 様

菅田小学校跡地利用について（提案）

菅田地区では、池上小学校と菅田小学校が学校統合することにより、令和6年度（予定）以降からは、菅田小学校は学校施設としての用途が廃止されます。

このことを受けて、自治会町内会・学校 PTA 関係者・学校開放関係者・放課後キッズクラブ関係者・地域福祉関係者からなる「菅田小学校跡地利用検討委員会」を立ち上げ、令和元年度に 5 回にわたり菅田小学校跡地の利用方法について検討を重ねました。

委員以外の地域の住民からも十分に意見を取り入れ、地域で抱える課題を踏まえた、地域として必要とする機能について提案をまとめました。

市が活用方針を策定する際には、本提案を最大限に尊重したうえで、関係区局で検討を進めていただくようお願いいたします。

菅田小学校跡地利用検討委員会 一同

委員長 小池 良幸

◎令和6年度までの全体スケジュール（予定）

	30 年度	令和元年 (31 年度)	令和 2 年 (32 年度)	令和 3 年 (33 年度)	令和 4 年 (34 年度)	令和 5 年 (35 年度)	令和 6 年 (36 年度)	以降
学校 統合	通学安全対策			学校 統合				
池上 建替え	建替え方 法決定			池上小工事			供用開始	

※あくまでも現時点での予定であり、状況により変更が生じることもあります。

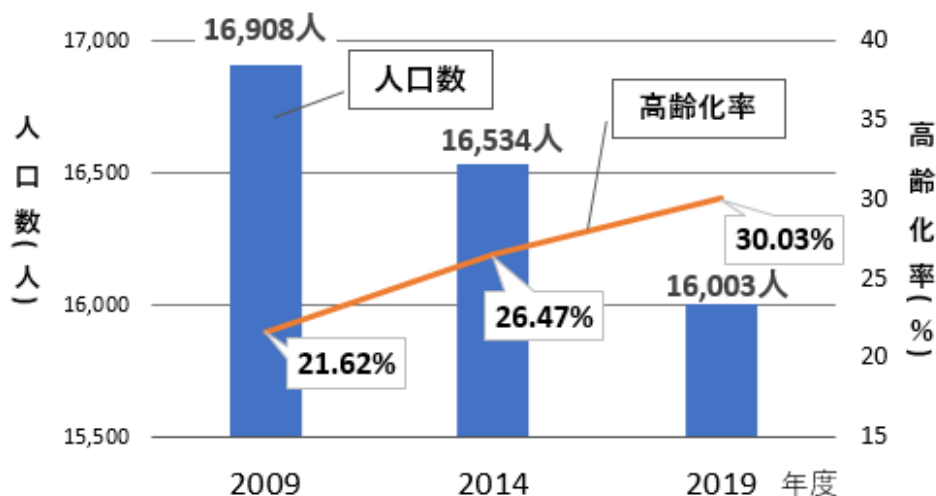
◎「菅田小学校」土地情報の概要



所 在 地		横浜市神奈川区菅田町674番地
面 積		13,637.97㎡
地 目		学校用地
都 市 計 画 制 限 に よ る	区 域 区 分	市街化区域
	用 途 地 域	第1種中高層住居専用地域
	建 ぺ い 率	60%
	容 積 率	150%
	高度地区指定	第3種高度地区
	防 火 指 定	準防火地域
	そ の 他 指 定	緑化地域

◎菅田地区の人口動態

＜菅田地区の現況データ＞



※データの数値は住民基本台帳より抽出。

- ・菅田地区(菅田町)の人口数は減少傾向にあり、高齢化率は上昇傾向にある。
- ・菅田地区(菅田町)の高齢化率は、神奈川区全体より高い。

菅田地区 30.03%
神奈川区 21.98%
(2019年3月末現在)

◎地域が抱えている課題

『少子高齢化や人口減少』

『スポーツができる広い場所が少ない』

『公共的な施設が少ない』

『災害対応の機能や体制不足』

なお、跡地の利用方法とは直接の関わりはありませんが、菅田地区は地理的に高低差が大きく、『移動』についての課題が大きいというご意見が多く寄せられました。

◎地域として、菅田小学校跡地に必要とする機能

○「多世代交流の場・子供の居場所」

○○○○○○○○○○○○○○○○○○という課題があり、これを解決するために、○○○○○○○○○○が、○○○○○○○○をする場所として、○○○○○○○○を備えた機能が必要です。

○「スポーツができる場所」

○○○○○○○○○○○○○○○○○○という課題があり、これを解決するために、○○○○○○○○○○が、○○○○○○○○をする場所として、○○○○○○○○を備えた機能が必要です。

○「防災の機能」

○○○○○○○○○○○○○○○○○○という課題があり、これを解決するために、○○○○○○○○○○が、○○○○○○○○をする場所として、○○○○○○○○を備えた機能が必要です。

○「医療サービスの機能」

○○○○○○○○○○○○○○○○○○という課題があり、これを解決するために、○○○○○○○○○○が、○○○○○○○○をする場所として、○○○○○○○○を備えた機能が必要です。

○「行政サービスの機能」

○○○○○○○○○○○○○○○○○○という課題があり、これを解決するために、○○○○○○○○○○が、○○○○○○○○をする場所として、○○○○○○○○を備えた機能が必要です。

菅田小学校跡地利用検討委員会 委員名簿(順不同・敬称略、カッコ内は所属団体等)

小池 良幸(菅田地区自治連合会 会長)	
小川 芳夫(菅田南町自治会 会長)	
野原 清喜(西菅田団地自治会 会長)	
工藤 弘子(ひまわり団地自治会 会長)	
竹山 茂夫(菅田小学校地域防災拠点運営委員会 事務局長)	
川越 理絵(菅田小学校PTA 会長)	
鈴木 美和(菅田小学校文化・スポーツクラブ運営委員会 事務局長)	
小泉 葉子(菅田小学校放課後キッズクラブ 主任)	
高橋 博之(神奈川区社会福祉協議会 事務局長)	
松野 勝民(菅田地域ケアプラザ 所長)	
事務局	神奈川区役所 区政推進課長 藤咲
	神奈川区役所 区政推進課 企画調整係長 星野
神奈川区役所関係課	総務課、地域振興課、福祉保健課、高齢・障害支援課、こども家庭支援課

これまでの検討の経過

◆第1回菅田小学校跡地利用検討委員会

日 時：令和元年7月26日（金）19:00～20:30

場 所：西菅田団地集会所

内 容：（１）開催趣旨について
（２）小学校跡地利用の検討方法と今後の進め方について
（３）他区における小学校跡地利用の事例紹介

◆第2回菅田小学校跡地利用検討委員会

日 時：令和元年9月2日（月）9:30～14:00

内 容：小・中学校跡地の見学（計3校）

見学先：（旧）左近山第二小学校、（旧）左近山小高小学校、
（旧）若葉台西中学校

◆第3回菅田小学校跡地利用検討委員会

日 時：令和元年10月30日（水）19:00～20:10

場 所：西菅田団地集会所

内 容：（１）菅田地区の現況データについて
（２）各委員からの意見の説明
（地域における主な課題・地域に必要な主な機能）
（３）委員以外の方から寄せられた意見の紹介
（４）今後の進め方について

◆地域住民向けワークショップ

日 時：令和元年12月14日（土）10:00～12:00

場 所：西菅田団地集会所

参加者：30名

実施方法：グループごとによる意見交換

テーマ：「地域の課題」、「地域にあると良い機能」

◆第4回菅田小学校跡地利用検討委員会

日 時：令和2年1月29日（水）19:00～●●:●●

場 所：西菅田団地集会所

内 容：（１）提案書イメージの確認とテーマの決定
（２）テーマごとの具体的な検討

◆第5回菅田小学校跡地利用検討委員会

日 時：令和2年3月●●日（●）●●:●●～●●:●●

場 所：西菅田団地集会所

内 容：（１）提案書の確定
（２）●●●●

◆各委員からの意見一覧(分野別)

資料3-(2)

分野	地域における課題	課題解決に向けて、跡地に必要な(あると良い)機能	委員氏名
交流・コミュニティ	丘陵地域で坂が多く、道路は狭く歩道が整備されていない箇所が多いため、高齢者の移動が簡単ではない。	地域のコミュニティセンターや地区センター的な施設	小池委員長
交流・コミュニティ	菅田地区センターの駐車場が狭く利用しづらい	地区センターを移設し、駐車場も整備して誰もが利用しやすい施設にする。	小川委員
交流・コミュニティ	周辺には老人ホーム等が多く、これ以上必要ない。子供も利用できる施設がほしい。	隣接するみどりが丘公園といっしょに整備し、こどもログハウスやアスレチックなどを設置、給食設備を利用した食堂(子供食堂)、放課後キッズクラブ、グランド開放等	小川委員
交流・コミュニティ	地域住民のたまり場、交流できる場所(高齢者・若年層・子供を含めて)	・コミュニティセンター 高齢者の交流場所(高齢者を孤立させない)	竹山委員
交流・コミュニティ	地域住民のたまり場、交流できる場所(高齢者・若年層・子供を含めて)	隣接の「菅田みどりの丘公園」とあわせて、高齢者の健康遊具や子供の遊び道具の充実	竹山委員
交流・コミュニティ	小学校がなくなると、ますます子供が減ってしまいます。	子供の集まれる場所も確保してほしい。地区センターのような体育館や図書館など、せっかくこれだけ広い土地なので、ぜひ校庭も残してほしい。	鈴木委員
交流・コミュニティ	高齢化	お年寄りや子供が一緒に過ごせる場所	鈴木委員
交流・コミュニティ	団地住民の高齢化	集える場としての居場所	高橋委員
交流・コミュニティ	高齢化問題と世代間交流	菅田地区では高齢化が進んでおり、孤立化も懸念されている。一方で、子供の数は全体では微減とされる。今はますます世代間交流が必要になってくると思われる。そこで子供から高齢者が一同に集まれるコミュニティの場が必要ではないか。中身の具体化は検討を要するが、安く利用できる喫茶(菅田は店がない)や配食・趣味・運動等。幅広く活用できる施設が望ましいと考える。	松野委員
交流・コミュニティ、スポーツ関係	図書館がない、気軽に利用できるスポーツセンターがほしい	図書館やスポーツセンターの空白地帯であるため、それらの補助的な複合施設として設置	小川委員
交流・コミュニティ	子供のたまり場が菅田の広い地域では地区センター以外にも必要。	・菅田地区は広いので、現在の地区センターだけではカバーが難しい。 ・菅田小跡地の利用で、子供たちが安心して集まれる。	野原副委員長
交流・コミュニティ	—	地区センターまでとはいかなくても、地域のコミュニティハウスとして校舎も多少建て替えたとしても、図書館や会議が出来る場所を希望。	川越委員
交流・コミュニティ	—	神奈川区、横浜市として、今後のためにモデルになるような施設にしてほしい。せっかく、のどかな緑の多い菅田なので、広い土地、残せる物は残し、菅田の住民の思い出の場所、つどいの場所にしてほしい。管理等は、自治会(防災拠点のため)や各団体(色々な)、キッズ(学童)等にしてほしい。	川越委員
交流・コミュニティ、防災関係	多世代交流の場がない。	高齢者・子どものふれあいの場の設置、防災サテライト	工藤委員

分野	地域における課題	課題解決に向けて、跡地に必要な(あると良い)機能	委員氏名
スポーツ関係	子供や若者たちが気軽に使える広いグラウンドが、学校のグラウンド以外にはない。	グラウンド、体育館設備の継続利用	小池委員長
スポーツ関係	地域住民のたまり場、交流できる場所(高齢者・若年層・子供を含めて)	スポーツのためのグラウンド(野球・グラウンドゴルフ・ゲートボール・テニス等)及び体育館(バレーボール・剣道・卓球等)、プール(水泳)	竹山委員
スポーツ関係	高齢者交流のスポーツ活動の場所の提供	・グラウンドゴルフ、ゲートボール、ペタンク等のできる場所が、狭い公園しかないので、跡地のグラウンドを利用できるようにする。 ・地域の運動会も行われているので、グラウンドとしての場所を残す。	野原副委員長
スポーツ関係	—	グラウンド、体育館は残してほしい。建て替えが必要だと思うが、神奈川区民としても誰でも利用できるようにした方がよい。	川越委員
スポーツ関係	子ども達の遊び場	広い校庭、体育館を自由に使える場。子ども達がサッカー・野球・バスケット・バドミントン・ドッジボールなどおもいっきり遊べる場所。	小泉委員
防災関係	防災拠点としての機能が十分果たせる設備になっていない。	・今日の台風や近い将来に発生が予想される大地震への備えが、もっと真剣に検討される必要がある。 ・緊迫感される状況のシミュレーションの対策に沿った施設にしておく。	野原副委員長
防災関係	地域防災拠点がなくなる	防災拠点としての機能は残してほしい。	小川委員
防災関係	高齢者・人口減少(若年層の減少)に伴う災害発生時の対応の充実が必要。住民の安心・安全を確保(担保)する必要有り。	・地域防災拠点は居住地近くに必要。 ・災害発生時に特に高齢者には遠隔地まで避難する事は困難。また、現在の防災拠点は、原則として災害(地震)のみを想定しているが、土砂災害・台風・風水害等あらゆる災害を想定した避難場所・備蓄倉庫を設置すべきである。(現在の備蓄倉庫は狭すぎる。内容・数量とも充分とは言えない。) ＜補足＞ とは言っても、今までも又、今後もたぶん、訓練で使用するのは年間2～3回、本番で使用する事は、何年かに何回あるか無いか分からない現実であり、防災拠点は絶対に必要な機能であるが、コスト面のリスクが多い事も明確である。そこで、下記のような課題に必要な機能を持った施設・設備を併設する事が望ましい。すなわち、地域住民の安全・安心、コミュニティの形成を図れる機能を持たせる。	竹山委員
防災関係	防災拠点	高齢化がすすむ中、防災拠点として、この場所が利用できなくなると不安しかない。	鈴木委員
防災関係	高齢化問題と世代間交流	地域防災拠点の機能は必要。	松野委員
子どもの居場所	地域住民のたまり場、交流できる場所(高齢者・若年層・子供を含めて)	子供の放課後の居場所。同時に保護者の交流場所。(カムカム広場、キッズクラブ、子供食堂など)	竹山委員
子どもの居場所	—	キッズに関しては、各校に1団体なので学童利用希望。	川越委員
子どもの居場所	—	すくすく子がめ隊や子ども食堂など。	川越委員
子どもの居場所	子どもの学習	学校だけでは理解しきれない、そんな子どもの学習の場。地域の方による、復習を主にした勉強の場。	小泉委員

分野	地域における課題	課題解決に向けて、跡地に必要な(あると良い)機能	委員氏名
医療関係	高齢の居住者の割合が多い地域で、高齢者医療機関(病院、診療所)が不足している。	中規模の総合病院や各種の診療所が入るメディカルビルのような施設	小池委員長
医療関係	生活の利便性の向上(菅田地区は生活するうえで不便な事が多い。新横浜行のバスが1日3本とは考えられない。)	近隣に少ない科目の医療機関(外科、眼科、皮膚科、整形外科、小児科等)	竹山委員
医療関係	—	診療所等を入れてほしい(バスも団地内を通れるように)。	川越委員
医療関係	高齢化	メディカルセンターに保育園もセットされている様な建物	鈴木委員
行政サービス	神奈川区の北西最深部にあたり、行政機関への公共交通手段がバス便のみで移動に時間を要する。	市役所・区役所の出張所、行政サービスセンター	小池委員長
行政サービス	生活の利便性の向上(菅田地区は生活するうえで不便な事が多い。新横浜行のバスが1日3本とは考えられない。)	行政機関(区役所等)の出先機関	竹山委員
その他(移動支援)	坂道が多く、バス路線でカバーできない菅田独自の課題がある。	・災害発生時は別にして、跡地利用の基本的問題として、居住地と小学校の距離、利便性を考える必要がある。坂道も多く、高齢者の移動は負担が大きい。 ・コミュニティバスの運行等も検討すべき課題と思われる。	野原副委員長
その他(移動支援)	生活の利便性の向上(菅田地区は生活するうえで不便な事が多い。新横浜行のバスが1日3本とは考えられない。)	交通サポートなど生活支援実施のための、基地(センター)(高齢者のため、地域に交通支援・買い物支援制度等を設ける必要がある(ケアプラ、施設等巡回バス))	竹山委員
その他	生活の利便性の向上(菅田地区は生活するうえで不便な事が多い。新横浜行のバスが1日3本とは考えられない。)	ショートスティ施設(在宅介護の増加が予想される)	竹山委員
その他	生活の利便性の向上(菅田地区は生活するうえで不便な事が多い。新横浜行のバスが1日3本とは考えられない。)	コンビニ、ミニスーパー、銀行の支店(出張所)	竹山委員
その他	地域住民のたまり場、交流できる場所(高齢者・若年層・子供を含めて)	文化活動のための施設(図書館、絵画・手芸教室等)	竹山委員
その他	宿泊施設がない。	簡易宿泊所	工藤委員
その他	団地内高低差	福祉サービスの拠点としての機能	高橋委員
その他	福祉サービス事業者の車両を停める場所がない	コインパーキング等駐車スペース	高橋委員
その他	居住者以外の方が来る場所が少ない	緑の多さを活用した、農業体験の場や園芸を楽しむ場。多くの方々が集まる場所となると良い。	高橋委員

「多世代交流の場・子供の居場所」

【課題のすり合わせ】

◆なぜ（必要な理由は？）

【具体的なイメージのすり合わせ】

◆だれが（対象者は？）

◆いつ（時間帯は？）

◆どこで（どのような場所、設備？）

◆なにを（実施する内容）

参考：【実現に向けてのアイデア】

◆どのように（手段、方法）

「スポーツができる場所」

【課題のすり合わせ】

◆なぜ（必要な理由は？）

【具体的なイメージのすり合わせ】

◆だれが（対象者は？）

◆いつ（時間帯は？）

◆どこで（どのような場所、設備？）

◆なにを（実施する内容）

参考：【実現に向けてのアイデア】

◆どのように（手段、方法）

「防災の機能」

【課題のすり合わせ】

◆なぜ（必要な理由は？）

【具体的なイメージのすり合わせ】

◆だれが（対象者は？）

◆いつ（時間帯は？）

◆どこで（どのような場所、設備？）

◆なにを（実施する内容）

参考：【実現に向けてのアイデア】

◆どのように（手段、方法）

「医療サービスの機能」

【課題のすり合わせ】

◆なぜ（必要な理由は？）

【具体的なイメージのすり合わせ】

◆だれが（対象者は？）

◆いつ（時間帯は？）

◆どこで（どのような場所、設備？）

◆なにを（実施する内容）

参考：【実現に向けてのアイデア】

◆どのように（手段、方法）

「行政サービスの機能」

【課題のすり合わせ】

◆なぜ（必要な理由は？）

【具体的なイメージのすり合わせ】

◆だれが（対象者は？）

◆いつ（時間帯は？）

◆どこで（どのような場所、設備？）

◆なにを（実施する内容）

参考：【実現に向けてのアイデア】

◆どのように（手段、方法）